

島根大学サテライトキャンパス in 飯南を開催

豊富な資源を抱える島根県の中山間地域は、地球温暖化の防止、水や食料の供給、水源のかん養、国土・自然環境の保全など多くの機能を発揮している地域であり、都市の産業活動や生活を支えています。しかし、今後は人口減少に伴う公共交通手段の消滅など、中山間地域を取り巻くさまざまな問題に対処しなければなりません。



今後とも、豊かな国土を形成し、持続可能な社会の発展を実現するためには、これからも中山間地域に人々が住み続けていくことが必要です。このためには、今以上に地域の行政や住民と大学や各種学校が連携し、地域社会に根差し、地域社会からの期待と多様な要請に応えられる人材の育成を進める必要があります。また、育成した人材が定着し活躍してくれるための基盤づくりとして、産業創出や農林業の活性化も同時に進める必要があります。

そこで、島根大学、飯南町、中山間地域研究センターではこの取り組みを今以上に進めるために、「島根大学サテライトキャンパス in 飯南」を企画し、開催することに致しました。

その第1弾として3月15日中山間地域研究センターにおいて「未利用資源を活用した地域活性化」と題して公開講座を開催しました。年度末の慌ただしい時期ではありましたが150人ほどの人が集まり、バイオマス関係の発表に耳を傾けました。当日は飯南町の米、黒豆と放牧仕上げの「熟ビーフ」を使ったカレーでの一日限りの学食も開設し、参加者の好評を得ました。

また、3月18日には飯南高校において島根大学伊藤教授による出前授業も開催しています。これも「サテライトキャンパス in 飯南」の一つとして実施しています。

今後ともこれらの取り組みを継続していくことにより、中山間地域での豊かな暮らしを提案して行きたいと考えています。

